ゆしま陶芸倶楽部　会報新聞　第１３１号

てびねり

十月号

平成２４年１０月１日発行
株式会社ゆしま陶助

日中国交正常化４０周年
東京国立博物館１４０周年

特別展「中国　王朝の至宝」

１０月１０日（水）～１２月２４日（月）
東京国立博物館　平成館（上野公園内）

◇中国は世界で４番目に広い国土と１３億人以上の人口と５０を超える民族を束ねる巨大国家で、６千年以上の歴史を現代につなげてきています。私たち日本人の精神面や文化にも昔から大きな影響を与えて来ている事も事実です。尖閣問題等でむずかしい時期を迎えている中ですがその中国の第一級の至宝が公開されます。
◇公開前なので内容がわかりませんので国立博物館の公式ホームページをのぞいてみました。
※このほかにも多数の至宝が出展されます。

１．一級文物〈金製仮面〉
紀元前１０世紀　殷～西周時代のもので四川省成都市から出土。幅４，９センチと小さな仮面ですが、金をふんだんに使った当時の技術に驚かされます。

２．一級文物〈金剛神坐像〉
大理石製・唐時代・８世紀頃の作品。長安城の跡から出土した唐時代の密教系の貴重な仏像です。

３．一級文物〈天人龍虎蓮華文柱坐〉
華北を統一した北魏の高官の墓から出土した石製品。３２㌢北魏時代大和８年（４８４年）何かの柱を立てた台座と見られていますが、唐草模様には西方文化の影響が顕著です。

★国立博物館公式ＨＰ参照。

記　佐藤洪景

◇今月のひとコマ

会場で撮影した写真を掲載

□高石昌和さん
★台東区老人福祉センターで開催された「いきいき作品展」（９月１４日～１５日）に出品し、好評を博した高石さんのコーヒーカップです。

□山口和江さん
★以前に作った楕円皿を追加で２枚制作中です。

□小林和彦さん
★絵付けした小鉢に釉薬掛けを慎重にしています。

□一色まりさん
★ねこちゃんの絵付け中です。

□村松千恵さん
★ご自分の作品の出来具合を点検中です。よく出来たわ。

◇窯出しした（還元焼成）皆さんの作品。一度にこんなに焼けました。

□武田京子さん
★お嬢さんにあげたお皿が好評でリクエストが来ました。「又作ることになったの」

□提橋美佐子さん
★お皿に絵の下書き中です。

□大岩カヨさん
★カフェオレボールを制作中です。

□石堂陽子さん
★コーヒードリッパーを作り始めています。

□山井充さん
★姪御さんに頼まれてご飯茶碗を制作中です。削りは地味ですが作品の出来上がりを左右します。

□高安泰子さん
★小鉢の削り中です。

□藤代和江さん
★マグカップの形を整えています。

◇初級コース紹介

□宣美慶さん　◆９月入会

□吉田利子さん
★板皿に織部釉を掛けています。

□石田純子さん
★小皿に絵を描き唐津風に仕上げたいの・・・。

□島村佳世さん
★酒器セットに釉薬を吹いています。均等に吹くのは中々大変。

今月の作品

□根本英理子さん【花入れ】
◆上絵ではなく釉薬だけで仕上げた作品です。がんばりました。

□大久保和美さん【花入れ】
◆最初はピッチャーを目指しましたが形が素敵なので花入れで使ってもいいですね。

□小西敬子さん【花器】
◆小さなふくろうがアクセントになっている小振りな作品ですがラスター釉でメタリックな感じに仕上げました。大きく見えます。

□石川宏さん【うつわ】
◆細かいところまで石川さんらしく精緻に仕上げた優品です。見事！

□中河政子さん【蚊取り台】
◆ふくろうが笑みを浮かべている愛らしい作品ですが、不苦労と言って縁起物にもなりますから置物としてもいいですね。

□奥田智美さん【四方鉢】
◆ていねいに色を付けては撥水剤を掛け見事に仕上げた作品。努力賞ものです。お正月にみかんをいれたのでは平凡過ぎますか。

□森谷美和さん【アロマポット】
◆唐津釉を掛けたのですが、窯の中で思いがけない色の変化があり、面白い色に仕上がりました。

□原田起久子さん【割山椒】
◆形がとてもよく出来ました。色もラインも最高です。

□島村佳也さん【花入れ】
◆白と黒のグラデーションの六角の花器はシャープな線がきれいに出ました。

□一色まりさん【板皿】
◆トルコ青とむらさき交趾を掛け分けた４０㌢はある足付きの作品です。大人数のパーティ用に２枚作りました。色の組み合わせが素敵です。

□大内　明さん【ご飯茶碗】
◆無造作な木賊柄に似合う渋めの色に仕上がりました。

□菅野満雄さん【花入れ】
◆花入れを兼ねたゴルフの優勝カップです。毎回優勝者に喜ばれているそうです。
〈だるま会〉とは手も足も出ないという意味だそうです。ゴルフは色々な楽しみ方がありますね。

□大岩カヨさん【抹茶碗２点】
◆色々なお茶道具を作るのが目標だそうですが、これが４個目の作品になります。

□石堂陽子さん【片口小皿】
◆白マットと黒マットを塗り重ねて色を出した作品です。いつも静かに制作に取り組んでいる石堂さんですが、作品に味がありますね。

□上原由美子さん【深鉢】
◆八角、八面の深鉢に染付けをしました。大きな作品、小さな作品、ロクロ、てびねりと何でも水準以上にこなす上原さんには敬服します。

□近藤真弓さん【マグカップ】
◆近藤さんと言えば「染付け」です。今回も祥瑞系の格調高い作品になりました。上手いですね。

見たこと・聞いた事・読んだ事

危険運転致死傷罪（きけんうんてんちししょうざい）

◇自動車事故は起こしても、巻き込まれても悲惨な結果が待ち受けています。半年ほど前に京都府亀岡で居眠り運転の未成年者の車が集団登校の児童の列に突っ込み３人が死亡、７人が負傷した事故がありました。死亡した３人のうち、２６歳の女性は妊娠７ヶ月で胎児も犠牲になった痛ましい交通事故でした。

◇少年Ａは無免許なのに趣味はドライブと答えています。居眠り運転で１０人が死傷した重大事故ですが、法令上は過失とみなされ罰則が最も重い「危険な行為」に当たらないという判断がでました。自動車運転過失致死傷罪は７年、業務上過失致死傷罪は５年なのに比べ、危険運転致死傷罪で死亡事故を起こした場合、最高懲役は２０年と格段に重いのです。

◇本人は未成年者で免許を取得する学科試験も受けていませんが、何度も無免許で運転しているから「運転技能があった」と認められ、居眠りをしていたからアクセルを踏む力が弱く、制御が困難なほどスピードも出していないので過失と見なされました。あまりにも我々庶民感情とかけ離れた判断のような気がします。

◇国会では法改正に向けた超党派の議員連盟で厳罰を組み入れる方向で検討しているというのですが、それも福岡の酒酔い運転で橋から車ごと転落させ３人の子供が死亡した事件や、栃木のクレーン車が児童の列に突っ込んだ死傷事件など、悲惨な事故がいくつも起きたのでようやく重い腰を上げた感じがします。

◇亀岡市の事故を起こした少年に、初公判の時に反省文を提出させたそうですが、そこには「将来結婚して子供が出来たら子供には絶対無免許運転はしないように言います」と書き、被害者の皆さんの怒りを買ったと８月３１日の産経新聞が報じています。

昔「注意１秒けが一生」というスローガンがありました。車は便利ですが凶器にもなります。ご注意を・・・。記　佐藤洪景